

主催



日・OECDハイレベル政策セミナー

ゼロカーボン建築 ライフサイクルCO₂の 削減に向けた世界の動向

建築部門は、世界全体のエネルギー起源温室効果ガス排出量の40%を占めています。新築および既存の建築物のエネルギー性能改善は、二酸化炭素排出量を削減するために不可欠です。

近年、北欧、フランス、オランダ等の**欧州**を中心に、従来の暖房エネルギー等の使用時の省エネ対策を超えて、製造・建設段階や廃棄段階を含む**建築物のライフサイクル全体のCO₂ (WLC: ホールライフカーボン)**の削減のための規制導入が進められています。

日本においては、住宅含むすべての新築建築物の省エネ基準適合義務化が2025年4月より全面施行を迎えます。次のステップとして、産学官連携のもと、**ゼロカーボンビル推進会議**において**建築物のWLC削減対策について議論**が始まり、日本版評価ツールJ-CATが2024年10月に公表されたところです。

本セミナーでは、OECD（経済協力開発機構）のラミア・カマル・シャウイ局長より、WLC施策に取組む11か国、7都市の政策分析・提言を含む**OECDレポート「都市におけるゼロカーボン建築：ホールライフサイクルアプローチ」**を発表します。

続くパネルディスカッションでは、建築物のホールライフカーボン対策において世界をリードする**デンマーク、スウェーデン**の政策担当者及び日本の産学官トップリーダー達が集まり、ゼロカーボン建築推進を目指した次の5年間の建築物の脱炭素化施策の行方を議論します。

現地参加 事前申込制 先着350名

参加費 無料

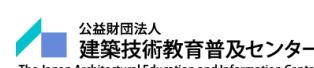
日英同時通訳

共催



一般財団法人**日本建築センター**
The Building Center of Japan

後援



IBECs 住宅・建築SDGs推進センター
Institute for Built Environment and Carbon Neutral for SDGs

住宅・建築SDGsフォーラム
SDGs Forum for Built Environment and Carbon Neutral

2025 木
2月20日
14:30 – 18:00

J Pタワー ホール&
カンファレンス
J Pタワー・KITTE
4階ホール1、2

東京都千代田区丸の内
二丁目7番2号
JR東京駅徒歩約1分

申込み切 2025年2月14日(金)

下記URLまたはQRコードよりお
申し込み下さい。

<https://form.run/@oeecd-policy-seminar>

申込受付後に【参加登録票】
がメールで自動送信されるの
で、プリントアウトして当日
受付にご提出ください。
定員(350名)になり次第締
め切れます。

(LIVE配信はありません)



申し込み先



お問合せ先

議事次第

14:30 – 14:40 開会あいさつ



中野洋昌
国土交通大臣
(調整中)



和泉洋人
東京大学特任教授、工学博士、
前内閣総理大臣補佐官、BCJ顧問

14:40 – 14:55



OECDレポート発表
都市におけるゼロカーボン建築：ホールライフサイクルアプローチ

ラミア・カマル・シャウイ
OECD 起業・中小企業・地域・都市センター (CFE) 局長

15:00 – 16:10 パネルディスカッション1 建築物のホールライフカーボン政策を巡る世界最前線



ヘレ・レーダー・モムセン
北欧サステナブル建設 事務局長
デンマーク社会サービス・住宅庁



ロジャー・エリクソン
スウェーデン 地方・インフラ省
住宅・建築課
課長代理



今村敬
内閣官房副長官補付
内閣審議官



**モデレーター
宮森剛**
OECD
CFE サステナブル建築ユニット
シニアマネージャー

16:40 – 17:40 パネルディスカッション2 どうする日本？



伊香賀俊治
IBECs理事長
ゼロカーボンビル推進会議委員長代理
慶應義塾大学名誉教授



宮澤浩司
東京都環境局
次長



宿本尚吾
国土交通省
大臣官房審議官（住宅局）



光吉敏郎
住友林業株式会社
代表取締役社長



**モデレーター
清家剛**
東京大学大学院教授

17:45 – 17:55 ゼロカーボン社会に向けたデベロッパーの挑戦



菰田正信
三井不動産株式会社
代表取締役会長



三浦逸広
国土交通省
大臣官房審議官（都市局・住宅局）

2月20日(木) 14:30~18:00

J Pタワー ホール&カンファレンス
J Pタワー・KITTE 4階ホール1、2